

平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

常陸太田市 解説

組 番 氏名

番号	解 説	答
1	常陸太田市の人口は、2017年(平成29年)6月1日現在 男性 24,324人 女性 25,663人 計 49,987人です。	3
2	竜神大吊橋は375メートルで、歩行者専用として日本最大級の長さを誇ります。また、バンジージャンプは100メートルで日本一の高さを誇ります。	4
3	須恵器(すえき)は、日本で古墳時代から平安時代まで生産された陶質土器です。青灰色で硬いのが特徴です。同時期の土師器とは色と質で明瞭に区別できますが、一部に中間的なものもあります。	1
4	梵天山(ぼんてんやま)古墳は、かつて久慈川流域を支配していた久自国造舟瀬足尼(くじのくにのみやつこ ふなせのすくね)の墳墓と伝えられている前方後円墳で、全長160メートル、石岡市の舟塚山古墳に次いで、県内2番目の大きさです。	2
5	寒水石(かんすいせき)は、現在の常陸太田市周辺に産する古生層中に挟まれた結晶質石灰岩(大理石)の石材名です。弘道館の記念碑や偕楽園の吐玉泉、温泉地の浴槽などにも使われています。	4
6	西山の里桃源では、毎年6月に、池や橋を配した約8,000平方メートルの庭園に3,000株の花菖蒲が咲き誇り、行灯(あんどん)によるライトアップを行います。	2
7	井上信太さんの作品「ART ZOO サファリパークプロジェクトin常陸太田」では、松平の広大な丘を舞台に、絵画で作られた動物たちが放牧されました。	3
8	道の駅ひたちおおたでは、トマトをハウス栽培しており、大玉・中玉・ミニトマトの3種類を1年中収穫することができます。	1
9	道の駅さとみは常陸太田市の道の駅第1号です。酪農が盛んな里美地区にあり、乳製品をはじめ、常陸秋そばなどの名産品を数多く取り揃えています。	2
10	袋田の滝は、大子町にあります。残りの3つの滝は里美地区にあり、里美地区の豊かな自然の象徴とも言える豊かな滝です。里美には塩の草の滝、薄葉沢の滝(うすばざわのたき)など、ほかにも多くの滝があります。	4
11	1608年(慶長13年)に現赤土町でタバコの試作が始まったといわれ、徳川光圀公に献上、高い評価を得た後、藩の保護奨励もあり、タバコの名産地として知られるようになりました。タバコの連作障害を防ぐために作られたそばが、現在の特産品「常陸秋そば」につながっています。	2
12	前回の大祭礼が開催されたのは、2003年(平成15年)です。今回はその72年後の、2075年に開催される予定です。	4
13	央橋(なかはし)は、春友町と町屋町の間にかかる橋で、そのアーチの美しさから平成22年度に選奨土木遺産に認定されました。	3
14	「けむし」は前進あるのみといわれ、源氏の正統派にふさわしいものという思想から、佐竹氏のかぶとモチーフとされました。佐竹義宣は、1590年(天正18年)、本拠を水戸城に移し、常陸国内諸豪族を平定し、領国統一を成し遂げ、「天下六大名」の一人として数えられました。	1
15	佐々宗淳(ささむねきよ:通称は介三郎)の墓は正宗寺にあります。宗淳は、水戸藩第2代藩主徳川光圀の側近として活躍、「大日本史」の編纂にも関わっており、全国各地を行脚(あんぎゃ)したといわれています。その史実が脚色されてきたのがテレビドラマなどで知られる「水戸黄門」で、宗淳はその中の「助さん」のモデルといわれています。	3
16	マシコタツロウは、2002年(平成14年)に一青窈(ひととよう)のファーストシングル「もらい泣き」で作曲家デビューし、常陸太田市の歌「空があるまち」の作詩作曲をしました。	2
17	宝島社「田舎暮らしの本」(2018年2月号)で、人口10万人未満の小さなまちランキング、子育て世代部門において、常陸太田市が1位に輝きました。常陸太田市は「子育て上手」をキャッチフレーズに掲げ、きめ細やかな支援策を実施しています。	4
18	常陸太田市の「つけけんちんそば」には、たくさんの具材が入っています。その中には、イモガラ(サトイモやハスイモなどの葉柄)も入っています。	1
19	泉福寺は、1684年(貞保元年)に廃寺であった松安寺の跡地に日立市小木津より引寺されました。このシダレザクラはその際に植樹されたものと考えられており、茨城県の天然記念物に指定されています。その推定樹齢は300年、根回り4メートル、目通幹囲3.5メートル、高さ20メートルと、茨城県内でも有数の樹勢を誇る巨木として、古くから多くの観光客の目を楽しませてきました。	3
20	常陸太田市里美地区で使われなくなった築300年の酒蔵「金波寒月」は地元で親しまれた酒蔵で、約50年前に惜しまれながら廃業しましたが、地元の住民らを中心としたプロジェクトチームが「地域の活動拠点」として改修しました。	2
21	亀ヶ淵(かめがふち)には、水戸藩第2代藩主徳川光圀が飛び込んで大蛇を倒した話、木こりが斧(おの)を落とした話など様々な伝説があります。	4
22	2018年(平成30年)4月に子どもたちの遊び場や子育て仲間との交流の場として、山吹運動公園親水広場の休憩施設が「じょうづるはうす」として生まれ変わりました。	1
23	都々逸坊扇歌(どどいつぼうせんか)は、1804年(文化元年)水戸領磯部村(現在の常陸太田市)に生まれました。都々逸(どどいつ)は、江戸時代末期に都々逸坊扇歌によって大成された七・七・七・五の口語調で歌われる俗曲です。	2
24	水戸徳川家墓所は、瑞龍山(常陸太田市の北部郊外、阿武隈山地から続く国見山の南側丘陵斜面)にあります。	3
25	雪村は、室町時代末期に活躍した水墨画家です。佐竹氏一族の出身で、雪舟に師事した後には独自の画風を確立し、数多くの優れた作品を世に送りだしました。茨城県の郷土工芸品である「雪村団扇(うちわ)」は、遍歴の途中にあった雪村が、瑞龍町の耕山寺に滞在していたときに創始したものともいわれています。	4